

欠席者名	たけるちゃん		
出席者数	14名	保育者名	4名+1名(ビデオ)

時間	子どもたちのようす
10:00	<p>りょうちゃん、ゆうがちゃん、りりちゃんがおにぎりを食べる。いつきちゃんは靴箱のところに行き、自分で靴を履いてドアの前で泣く。げんちゃん、まことちゃん、まおちゃんは、保育者に絵本を読んでもらう。みあちゃんは黒猫のぬいぐるみを抱えて歩き回っている。ひかるちゃんは保育者の膝に座って泣きながら、周りの子のことを見ている。</p> <p>あすとちゃんは上がり框の近くに椅子を運び、自分のリュックをそばに置いて保育者に「しょうぼうしゃは見えない、しろバイは見た」と繰り返し言っている。いつきちゃんは、その様子をすぐ近くでじっと見ているうちに泣きやむ。</p> <p>保育者が手を洗っているのに気づいたゆうがちゃん、ののかちゃん、さなちゃんが水道のところに来て、それぞれ蛇口をひねったり、鏡をじっと見たりする。</p> <p>りょうちゃんが電車の絵本を見ていると、ゆうたちゃんも来て、向かい合わせに座って同じ絵本を見る。りょうちゃんが「きしゃきしゃシュポシュポ」と声を出し、ゆうたちゃんが聞いているようだった。</p>
10:30	<p>たつちゃんとげんちゃんは、それぞれ電車のおもちゃをつなげて走らせているうちにバツタリ出あう。たつちゃんがハイハイのような恰好をして電車を走らせ始めると、げんちゃんも同じようにして、電車を並走させる。そのうち、げんちゃんは電車のおもちゃを上がり框のそばに置いていく。ドアのところにはいつきちゃんは、その電車を触りたそうに手をのばす。保育者に「靴を脱いで上がってきたら遊べるよ」と声をかけられ、靴を脱いで電車を持って走らせ始める。</p> <p>泣いているうちに眠っていたひかるちゃんは、「起きて遊ぼう」と保育者に声をかけられ目を開けるが、また目を閉じてじっとしている。それを見ていたゆうたちゃんが来て、ひかるちゃんのすぐそばに電車のおもちゃをそっと置いていく。ひかるちゃんは目を開けて、その電車を手に取り起き上がって走らせ始める。</p> <p>まことちゃんは、長い大積木をいくつか並べて道のようにする。たつちゃんとりょうちゃんが来て、その上を歩いて渡ってみる。まことちゃんが行ってしまった後も、二人で繰り返し歩いている。</p> <p>ゆうがちゃんが、レゴブロックの箱をひっくり返して中身を出す。りりちゃんが来て、そのレゴブロックを組んで保育者に見せる。ゆうがちゃんは別のおもちゃの箱もひっくり返すと、自分がその中に入る。ゆうがちゃんが箱から出たところにたつちゃんが入る。ゆうがちゃんはたつちゃんの入っている箱にもう一度入ろうとするが、入れない。保育者に「黄色の箱があるよ」と声をかけられ、黄色い箱に入って座る。さなちゃん、まおちゃんがそれを見ていて、それぞれ近くにある別の箱に入る。さなちゃんはすぐに出ていってしまうが、そこにののかちゃんが来て入る。</p>
11:00	<p>みあちゃんは、時間をかけて三角や半円の大積木を並べる。たくさん並べてから満足そうにそれを眺めている。ののかちゃんが来て、そこに別の大積木をつなげようとする、明乎ちゃんが「やめて」と言う。ののかちゃんは場所をかえて大積木を並べて、大積木をまたぐようにして飛び跳ねる。さなちゃんがそれを見て楽しそうに笑い、真似をしてやってみるがののかちゃんのようににはできず、「できないのー」と保育者に言う。</p> <p>窓の外に、消防署からはしご車のはしご部分が延びてきたのが見える。保育者が「はしご</p>

だね」と言っているのを聞いて、あすとちゃんが自分の座っていた椅子を持って窓のところに行く。椅子に登って外を見たが、はしごはすでに降りていて見るができなかった。あすとちゃんは「みえなかったー」と言いながら、また椅子を持って上がり框の方に戻ろうとして、途中でおもちゃのカゴに目が留まる。いくつか重ねてあるカゴの中から一番大きなものを選び、カゴと椅子を持って元いた場所まで戻ってきて椅子に座り、カゴとリュックを手を持つ。

たつちゃんが、電車のおもちゃを持って大積木の上を走らせる。ゆうたちゃんが、それを見ながらおにぎりを食べている。りりちゃんが来て、たつちゃんの電車を持っていってしまい、たつちゃんはしょんぼりする。保育者がりりちゃんに「たつちゃんが遊んでたよ」と声をかけると、たつちゃんに返す。りょうちゃんが、ゆうたちゃんのそばにおままごとのメロンやブドウを持ってきて、ゆうたちゃんに「あーん」と言って食べさせる真似をする。ゆうたちゃんは受け取って、おにぎりのそばに置く。りりちゃんと保育者がそのメロンとブドウを食べる真似をする。そこにゆうがちゃんがやってきて、ゆうたちゃんのおにぎりの入れ物を触る。ゆうたちゃんはおにぎりを手に持ったまま、入れ物を抱えるようにして持つ。

離れたところからそれを見ていたひかるちゃんが、「ひかるもおにぎり」と保育者に言う。「ひかるちゃんのリュックはどこ？」と聞かれると、「ひかるの、ひかるの」と言いながらリュックを探して見つけ、ゆうたちゃんのそばに言っておにぎりを食べる。その様子を見てののかちゃんが「ののかちゃんも、もっとたべたい」と言う。保育者と一緒にリュックを確かめると、まだおにぎりが入っていた。ののかちゃんはニッコリしてひかるちゃんの隣でおにぎりを食べる。

まおちゃんが太鼓を見つけて、手でポンポンと叩いている。その後でまことちゃんが今度はその太鼓をコルク積木でトントンと叩くと、手で叩くよりも少し大きな音が出る。それを見ていたひかるちゃんが「うるさい」と言う。まことちゃんにはその声が聞こえず、楽しそうに体を揺らしながら太鼓を叩き続けている。

りょうちゃんがボールを見つけ、サッカーをするように足で蹴って保育者の方に転がす。それを見ていたみあちゃんが別のボールを見つけてまおちゃんに渡し、まおちゃんがまたみあちゃんに返し、渡し合いを始める。その様子をさなちゃん、りりちゃんが見て、楽しそうにキャッキッと声をあげている。

いつきちゃんは上がり框の近くでおにぎりを食べることにする。入れ物のふたのアンパンマンの絵を「あんばん！」と何度も言って保育者に見せる。すぐそばにいるあすとちゃんが、それを見ながらレゴブロックとミニカーを手を持って動かしている。

げんちゃんが棚の上に登って、座った状態でお尻を滑らせて降りる。さなちゃん、ののかちゃんが来て同じように棚に登る。ののかちゃんはお尻を滑らせて降りるが、さなちゃんは降りるのを躊躇している。げんちゃんがまた棚に登ったので、保育者が「降り方のお手本を見せてあげて」と声をかけると、げんちゃんが先ほどと同じように降りる。それを見て、さなちゃんも降りることができて嬉しそうな表情をする。

りょうちゃんが壁際に積んである大積木を動かしていると、偶然すべり台のような形になる。それを見て、たつちゃんが電車のおもちゃを持ってきて滑らせるが、りりちゃんはその電車を持っていってしまう。たつちゃんは今度はお尻で滑り始める。まことちゃんも来て一緒に滑る。りりちゃんはその様子をすぐ近くでじっと見ている。まおちゃんが来て大積木に登る。ひかるちゃんも来て登り、保育者と手をつないで滑ろうとするが、大積木が崩れる。

あすとちゃんが椅子から立ち上がり、プーさんの絵のスポンジパズルをしながら歌を歌っている。

チャイムが鳴ってお母さんたちが入ってきた。



- お子さんの爪が長いと怪我につながりますので、爪切りをしてください。
- お子さんが自分のリュックだとすぐわかるように、お気に入りのハンカチを結びつけるなど、お子さんにとって目印になるものをつけてください。
- オムツ、オムツ入れ、おしりふき、お弁当の本体と蓋の両方、靴下、などお子さんの持ち物にはすべて記名をお願いします。

11:30

12:00